
(仮称) 福山駅前再生ビジョン

(素案骨子)

2017年(平成29年)11月

福山市

はじめに

- ・ビジョン策定の目的，背景，福山駅前再生の基本理念 ～エリアプロデュースからエリアマネジメントへ～
- ・対象エリア，目標年次，ビジョンの位置付け，第五次福山市総合計画における福山駅前の位置付け

現状と問題点

- ・財政状況，人口動態，空間・交通，産業，観光，都市イメージ（まちのコンテンツイメージ）
- ・福山駅周辺エリアの歴史的な背景と地域特性
- ・地域の強み
- ・福山市全体の都市・地域経営課題
- ・福山駅前再生にあたっての課題
- ・6つのターゲットと必要な機能（課題解決に向けた考え方）

再生ビジョン

- ・20年後の目指すべきまちの姿
- ・6つの都市空間イメージ
- ・6つの再生の方向性

再生戦略

- ・公民連携の推進体制
- ・ビジョンの実現プロセス
- ・公共空間の再整備イメージ（福山駅周辺エリア，伏見町・三之丸町エリア）
- ・民間と行政，それぞれの役割
- ・ビジョンを実現して得られる効果（数値目標）

はじめに

ビジョン策定の目的

このビジョンは、福山駅前の再生に向けて、行政や市民、関係地権者、事業者等が目指すべきまちの姿を共有し、その実現に向けて取り組んでいくために策定するものです。

ビジョンの策定にあたっては、都市デザインやブランディング、建築、女性の活躍など様々な分野の専門家や市民、関係地権者、事業者等から様々なご意見をいただきました。ビジョンでは、これらの意見を踏まえ、伏見町や三之丸町を中心とする福山駅前の20年後における都市空間イメージや集積すべき都市機能、再生の方向性、民間と行政の役割、公共空間の再整備イメージ等を示しています。

背景

福山駅前には、備後圏域や福山市の玄関口として重要な交通結節点であり、県東部の経済的・文化的な拠点として、重要な役割を担っていかねばならない場所です。しかし、現在の福山駅前は、大型商業施設の閉店や郊外型店舗の立地などにより遊休不動産が増加し、エリア全体のスポンジ化が進んでいます。このことから、市民をはじめ、市外から訪れる人にとっても魅力が失われつつあります。

さらなる少子高齢社会、人口減少社会を迎える中で、備後圏域や福山市が都市間競争に打ち勝っていくためには、社会情勢や産業構造、ライフスタイル等の変化に対応したまちづくりをこれまでにない手法により進めていかねばなりません。魅力あるまちづくりを行うことによって、若い世代の流出を防ぐなど、定住人口や交流人口を維持・増加させ、将来に渡って、備後圏域や福山市全体の発展を牽引していく、人や企業を惹きつける福山駅前をつくりあげていく必要があります。

福山駅前再生の基本理念 ～エリアプロデュースからエリアマネジメントへ～

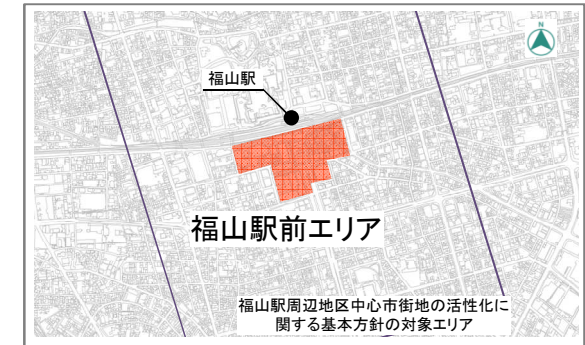
福山市は、「まちづくりの根幹を成すのは人」をまちづくりの基本理念に掲げ、人口減少社会であっても、子どもたちの笑顔がはじけ、若者や女性が輝き、高齢者になっても、だれもが自分らしく暮らせるまちづくりをめざしています。

この「人」を中心としたまちづくりの基本理念に基づき、福山駅前の再生をめざします。

また、再生にあたっては、行政と民間が連携してエリアプロデュースを行うことで、今の福山駅前をにぎわいと魅力ある場へと変化させ、エリアの価値を向上させます。そして、それを持続的に発展させていくエリアマネジメントへとつなげていくことで、福山駅前を再生していきます。

対象エリア

「福山駅周辺地区中心市街地の活性化に関する基本方針（2012年3月）」に定めるエントランスゾーンを中心としたエリアとします。また、その周辺のエリアとの連携も図りながら、福山駅前の再生に向けて取り組んでいきます。

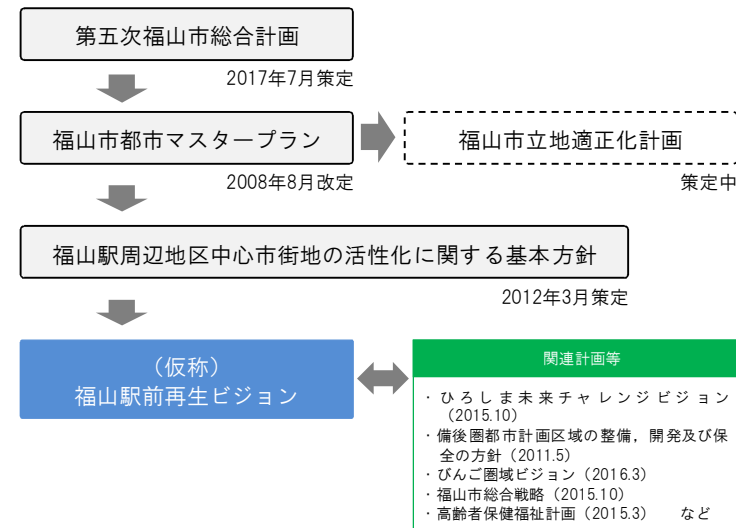


目標年次

このビジョンで示す福山駅前の目指すべきまちの姿は、20年後とします。また、時代の流れに的確に対応するため適宜見直します。

ビジョンの位置付け

このビジョンは、第五次福山市総合計画や福山市都市マスタープラン、福山駅周辺地区中心市街地の活性化に関する基本方針を上位計画とし、他の関連計画との整合を図ります。



第五次福山市総合計画 第1期基本計画（2017）における福山駅前の位置付け

目標とする姿：「子どもから高齢者まで多くの人が福山駅前に集い、買い物や散歩など自由な時間を楽しむまち」

今後の方向性：

- 若者や女性の感性、高齢者などの視点も取り入れ、「住む、観る、憩う、学ぶ、働く、集う、そして発信する」など様々な機能の集積により、福山城を始めとした文化ゾーンと一体的に、「都市の顔」としての魅力づくりに取り組みます。
- 少子高齢社会のモデルとなるようなまちづくりをめざし、民間による都市開発事業や遊休不動産のリノベーション等を促進していきます。